別紙様式12

授業料免除に係る「特別の事由」に対する申請書

令和　　年　　月　　日

通常最短修業年限を超えて在籍している者は、免除の申請はできませんが下記の「特別な事由」（1）から（3）による場合は申請可能です。（3）については、指導教員の推薦所見が必要となります。

【特別な事由】

（1）病気による休学

（2）留学のための休学※学業修得のために真に有益とは認められない留学や留学期間が概ね半年未満の留学は除く

（3）大学院生の研究テーマ、研究方法等の本人の事情によらない理由で留年した場合

学籍番号		申請者氏名		平成・令和　　年　　月入学・編入学・進学
学生記入欄	休学期間	令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日		（病気・留学）
	留学期間	令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日		
	留学費用	①国費留学　②国・地方公共団体等からの助成による留学　③私費留学		
	留学先	①国　　名		
		②学　　校		
		研究機関名		
	特別の事由			

指導教員記入欄	大学院生の特別な事由に関する推薦所見
	論文作成の留年の場合は ①前年度までの研究状況 ②今年度の研究計画 ③前年度からの進捗状況を 明確に記入して下さい。
	論文作成が延長している事由として該当する場合は〇をして下さい。 ・膨大な資料解析が必要なテーマである。 ・高度な最先端技術の研究である。 ・学外の研究施設等での利用が無ければ成果が得られない研究である。 ・研究テーマを変更した。（本人の事情によらない理由）

指導教員（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿